

令和2年度 第1回 佐渡市地域包括ケア会議 事前調査

Q1 事例の本人・家族が地域で長く暮らせるために、それぞれのお立場でできる支援をご記入ください。

佐渡医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症を早く見つけて、介護の利用を出来る様に。 ・閉じこもりにならない様に集団へ参加する様にする。 ・薬の飲み忘れや通院間隔、衣服の不具合、直前の食事や昨日何をしていたか聞いて、答えから認知症の方を察知し、介護の現場に引き出す様にする。
佐渡歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・受診時の対象者の様子や変化について家族に連絡できるとよい。
真野みずほ病院 認知症疾患医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状態把握を行うこと。家族にも本人の状態を知ってもらうため専門病院への受診をすすめていく。 ・本人状態をふまえた上で今後の生活が守れるよう、他職種での介入を検討する。
新潟県司法書士会 佐渡支部	<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の中で（成年後見、保佐、補助）の開始の審判の申立、並びに任意後見契約のサポート。
新潟県社会福祉士会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士としてではなく、近所として見守り・話し相手・ウォーキングを一緒にできるようなお手伝いはできると思う。
佐渡市民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員としては、時々訪問して会話したり、地域の行事に誘ってみたりして、見守りを続けたい。家族には専門医への受診を勧める。 ・また地域の区長や隣組長、自主防災の役員には見守りの協力をお願いする。その上で必要に応じて、地域包括支援センターに連絡・相談をする。
新潟県栄養士会 佐渡支部	<ul style="list-style-type: none"> ・息子と食事をする事が少なく、ある物で食事を済ませたり、弁当や総菜で済ませたりすると、同じ食べ物ばかりを食べている可能性があり、栄養が偏りやすい。 ・買物に行く時はメモを取り、確認しながら買い物を行う。
佐渡市在宅介護支援センター (高千の里)	<ul style="list-style-type: none"> ・近所・集落に支援隊を作ってもらう。 ・郵便局・ヤマト運輸などに見かけたら連絡してもらって連絡網などを構築してもらおう。 ・子どもと大人の食堂などを構築。 ・訪看や薬剤師の訪問。
佐渡警察署 生活安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・迷い人（行方不明）になる前の積極的な声掛け。行方不明になった時の捜索。
新潟地方法務局 佐渡支局	<ul style="list-style-type: none"> ・法務局としては、本人や関係者から相談があった際には適切なアドバイスを行うことで、本人・家族が自分達だけで問題を抱えこまないようにする。
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の方に直接的にケア・支援できる立場ではないため、各個人を把握して、こちらからアプローチをすることは難しいが、本人や家族等から電話連絡や相談があれば、内容を聞いて受診を促したり、他機関に連絡調整したりすることができる。

日本郵便株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、有料で郵便局の「みまもりサービス」を展開している。 基本的には同居をしていない子世代を契約者として、元気な親世代を対象としたサービスモデルとなっているが、このサービスを活用し、例えば、朝晩の電話確認、新聞配達時での声掛け、また軽微な身の回りのお世話等を個別に付加できるか検討していきたい。 （民生委員の行っている定期訪問にかえて、郵便局が佐渡市からの委託を受けて訪問し、状況報告を行う。みまもりサービスの地公体バージョン）
佐渡市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・火災予防についての指導 <ul style="list-style-type: none"> ・直火のコンロからIHコンロ・電子レンジ等の交換 ・家庭用消火器、自動消火装置の設置。 ・近所の方との連動型住警器の設置。 ・仏壇等、火点周囲の不燃化。
佐渡市市民生活課健康推進室 (国保保健事業担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者は後期高齢者のため、国保の事業対象からはずれるが、今後、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施で何か支援ができるか。
佐渡市市民生活課健康推進室 (新潟県看護協会佐渡支部)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者と連携し個別支援・家族支援。 ・地域への働きかけ。

Q2 事例を通じて本人・家族への支援を進める上での課題（地域課題）をご記入ください。

佐渡医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的支援者の少ない認知症は、元々頑固な人で通っていたり、変わった人などと評価されていて、周囲の人も一目おいている様な人が多い。他人が入る事やデイサービスや、人の世話になる事など拒否したり、又、認知症から特に物盗られ妄想や金銭の事など言う人がよく居て第三者がのりにくく対応に苦慮しているのがよくある様に思う。
佐渡歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、医療機関から家族への連絡欄のついた保険証入れなどがあると良い。 ・認知症サポーターの活躍の場を増やせないか。 ・地域の茶の間の活性化。（回数・送迎など） ・ITを利用した見守り・声かけなど。
真野みずほ病院 認知症疾患医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にも認知症疾患の理解が必要。ゴミ出しのルールが守れない。トラブルをおこす人になってしまう。疾患を知らないと不安や怖さになってしまうため、地域の認知症疾患の理解普及が課題。
新潟県司法書士会 佐渡支部	<ul style="list-style-type: none"> ・本人、家族、親族、地域社会との人間関係は？親しい人はいるのか？
新潟県社会福祉士会	<ul style="list-style-type: none"> ・茶の間等、日中の集いの場があるといい。（お昼ご飯付き）
佐渡市民生委員児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域において、ゴミ出しの仕方等トラブルがある場合、放置しておくとうる人たちが孤立していくので、早めに対応策を（家族を含めて）考えるべきだ。 ・認知症の人（疑いのある人含む）に対する理解と共生のあり方について、機会を作り理解を深めてもらう必要はある。
佐渡市在宅介護支援センター (高千の里)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域・集落の見守りが少ない。 ・日中の集いの場が少ない。

佐渡警察署 生活安全課	<ul style="list-style-type: none"> ・Bの勤務時間が長すぎるので、会社への協力を求める。
新潟地方法務局 佐渡支局	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のプライバシーの問題や人口減少により、地域での連帯、近所同士の見守りが難しくなっているため、問題が表面化しにくく、また、地域住民の協力を得ることも難しくなっている。
佐渡地域振興局 健康福祉環境部	<ul style="list-style-type: none"> ・家族や近所の方が本人に対して困った時に、「どこに相談すれば良いのか」「どの程度で困り感を発信すれば良いのか」を地域として周知していけると良い。 また、かかりつけ医でも薬の飲み忘れが頻繁である等、確認できる状態であった時、かかりつけ医から認知症専門の医療機関に紹介することができるよう、医師や医療機関に周知していくことが必要。
日本郵便株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス料金が発生してしまうが、この費用を誰が負担するかが問題となる。
佐渡市消防本部	<ul style="list-style-type: none"> ・息子の地域への積極的な関わりが必要。共同作業などへの参加。親子で参加できればなお良い。 ・集落単位での認知症講座は、必要になってくるのではないのでしょうか。
佐渡市市民生活課 健康推進室 (国保保健事業担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・日中独居ということで、地域による見守りが必要に感じる。地区健康学習会でフレイル予防に取り組んでいるが、認知症の人への地域でできる支援等を考える機会などを提供するのもよいか。
佐渡市市民生活課 健康推進室 (新潟県看護協会佐渡支部)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の人の火の不始末、運転へのまわりの不安、予防策。 ・日中の居場所や見守り。 ・運転（楽しみの場にてかける方法）。

Q3 模擬事例に関する質問等ございましたらご記入ください。

真野みずほ病院 認知症疾患医療センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーやDSの利用は、今後増やすことはできるのか。
新潟県司法書士会 佐渡支部	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に兄弟姉妹はいますか？また、甥・姪はいますか？ ・厚生年金の額はいくらですか？
佐渡市民生委員児童 委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・把握経路で「7. その他」とあるが、経路として多いのは何か？ ・日常生活自立度でⅡbとあるが、その程度の内容と、判定の仕方を知りたい。 ・利用者基本情報裏面の同意書署名は、本人なのか家族や関係者で良いとしているのか？
佐渡市市民生活課 健 康推進室 (新潟県看護協会佐渡支部)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の診断の有無、息子の受け止め方、息子と本人の関係性、息子の年齢、近所の人のとらえかた、認知症の弟の嫁の状況、デイサービスでの本人の状況、回数増の可能性、本人の楽しみや強み、好きなこと、火の不始末のエピソード。